

学校法人双葉学園 幼保連携型認定こども園

認定こども園 ふたば

S i n c e 1 9 6 9



◆双葉学園とはこんなところ◆

教育目標

健康で元気に遊べる子どもを育てる

思いやりと協調性のある子どもを育てる

基本的な生活習慣がきちんと身につく子どもに育てる

教育方針

- ★すべての子ども達に上質な学校教育や保育を実現し笑顔で成長できるよう援助していきたくと思います。
- ★乳幼児期は社会性の発達の芽生えとして一番大切な時期です。集団生活によって、徐々に社会性を身につけていくようにします。
- ★普段の遊びの中で個性を発揮し、試し、そして伸ばし得られるような機会と環境を一人一人に与えて、園児の一生の基本となるものを作っていきたいと念願しています。
- ★しつけの習慣から、自分でできることは自分でやるという自主性の確立を実現したいと思います。
- ★団地という地域環境を特に考慮し、野菜や草花を育てるなど、自然環境の中で、毎日の生活を通して、子どもの情操を養っていきたくと思います。
- ★子育て付加事業により、保護者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性化を図り社会的役割を果たします。

理事長挨拶

学校法人双葉学園は、地域の皆様に支えられ、創立 55 年目を迎えることができました。そして、平成 27 年 4 月より子ども子育て支援新制度施行によって、幼保一体化としての「認定こども園ふたば」として歩み始めました。

認定こども園として、幼稚園と保育園が連携、それぞれの機能を活用し、一体的な教育・保育を行います。

入園の年齢が様々になりますがそれらに配慮しつつ、「0 歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育」を行います。

ご家庭との連携を図りながら園生活を通して生きる力の基礎を作ります。

子どもの最善の利益を考慮しつつ、その生活を保障し健やかに育成することを常に心がけ保育にあたります。

園とご家庭と協力をし合いながら子どもの健全な発達を見守っていきたいと思います。

認定こども園ふたばでは以下の 3 つを目指しています。

- ①日々の生活の中で、友達や先生などとの関わりから、居心地の良さを感じ、自分の思いをぶつけ、夢中になって遊ぶこと。その中で社会生活の基礎を学び、生きる力をつけること。
- ②認定こども園として、幼児教育の質の向上と保育機能を活かした子育て支援事業により、保護者の思いをサポートしながら子育て環境の活性化を図ること。
- ③地域における子育ての拠点となり、子育て中の保護者同士の交流促進のみならず、近隣住民との交流も深められる場となり、地域活性の手助けにつながること。

世の中はめまぐるしく動いています。私たちは今の社会情勢をしっかりと受け止め、保護者の皆様のニーズに応じた施設であることが、重要であると考えます。園児、保護者、地域の皆様に愛される認定こども園ふたばを目指します。

幼保連携型認定こども園

認定こども園ふたば

理事長 太田鉄三

SDGsへの取り組み



当園は、持続可能な社会を目指す国際目標である「SDGs」に賛同し、子どもたちのより良い環境づくりと子育てのための取り組みを推進します。

1 貧困をなくそう

子どもが心身ともに健やかに成長し愛されることを大切にします
親の就労を支え、子どもたち一人一人に丁寧に寄り添ってまいります

2 飢餓をゼロに

食べ物の大切さや命をいただくありがたさを子どもたちに伝えます
栄養のバランスを考えた食事を提供します



3 すべての人に健康と福祉を

国籍や障がいの有無にかかわらず子どもたちを大切にします
健康や栄養に関する情報を保護者に発信します

4 質の高い教育をみんなに

全ての子どもの最善の利益を大切にしています
質の高い教育を目指し、子どもたちのために邁進します

5 ジェンダー平等を実現しよう

男の子も女の子も共に仲良く過ごせる環境を整えます
主体性の尊重と性差を超えた積極性を大切にします

10 人や国の不平等をなくそう

子どもたちの安全や安心を保証します
環境にやさしいエコな日常を心がけます

16 平和と公正をすべての人に

様々な人たちがともに育ちあえる環境づくりをします
自由に表現すること、認め合うことを大切にします



◆ SDGs とは ◆

・ **SDGs**・・・sustainable development goals
(サステイナブル ディベロップメント ゴールズ)= 持続可能な開発目標

S・・・“将来に向けて良い状態で続けることが出来るような”という意味が含まれています。

D・・・“開発” 今ある状態からより良い形に変わること。変えていく取り組みのこと。

G・・・“目標” 2030年までに目標を達成することを目指しています。

・ SDGs 17の目標は“経済” “社会” “環境” の3つのバランスが取れるように設定されています。

★ 2015年の国連サミットで採択され、国連加盟の193ヶ国が2016年から2030年の15年間で達成するため掲げられた目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

SDGs は地球上のすべての国が取り組むべき普遍的なものとして、日本国内の企業・団体・個人においても積極的に取り組まれています。



ふたばへようこそ



園の概要

幼児部(3~5歳児)

3歳児 50名
 4歳児 50名
 5歳児 50名
 計150名定員

乳児部(0~2歳児)

0歳児 12名
 1歳児 16名
 2歳児 18名
 計46名定員

先生たち

園長/副園長/園長補佐
 主幹保育教諭2名/保育教諭・補助/33名
 看護師1名/栄養士/1名/調理5名
 事務・用務他3名
 幼児体育専門講師/英語遊び外国人講師

本園の園舎は平屋建てです。それは、どの保育室からも園庭が見渡せ、保育室と園庭が一体になるように、また職員室からも子ども達の遊ぶ姿がいつでも見守れるように配慮してあります。



豊かな
心を
育てる

ふたばの伝統行事

日本には自然の移り変わりを肌で感じることができる四季があり、子どもにも様々な経験ができるよう、行事に取り組んでいます。運動会・発表会はもちろん、お月見やおもちつきなど古来から伝わるものを取り入れ 子どもたちには、その由来なども年齢に応じて分かりやすく伝えていきます。

感動する心、自然と触れ合うことの楽しさなど、子どもの成長に大切な心を育てます。



七夕



こどもの日



お月見会



節分



七五三ふたば神社



ひなまつり



おもちつき

絵本の読み聞かせ

毎年各クラス300冊以上を目標に絵本の読み聞かせに積極的に取り組んでいます。

「読み聞かせ」は子どもの心にうるおいを与えると共に感性や知識を育てる良い機会です。

あらゆるジャンルの絵本を季節や行事・年齢に合わせ、子ども達の興味・関心に添えるよう心掛けています。



春は、満開の桜の下をおさんぽ。

秋は、舞い散る落ち葉の中でどんぐり拾い。

団地の中の施設になりますが、生活とともに自然がたくさんあります。四季折々の自然と向き合いながら、子どもたちはのびのびと育っています。

本園では沢山の経験を通して、豊かな心と体を育て、何事にもチャレンジする心を育てることを教育目標とし、

職員一同日々の保育に取り組んでいます。

園長 太田勝基

子ども達の
未来のために



ふたばでの子どもの育ち

0歳児 たんぽぽ組



～安心できる関係・環境を築く大切な時期～

「ねむい！おなかすいた！おむつがぬれた！」
感じたままの気持ちをからだいっぱい表現する0歳児。
先生のまなざしに見守られて、『安心できる人や場所』という『安全基地』を作り、離れていてもすぐに戻れるという安心感を持って、
こどもは徐々に世界を広げていきます。
また、眠るだけだったこどもが、『座る、這う、立つ、つたい歩き』と
運動機能の発達が著しいこの時期。
つかまっていた手を離して、『初めての一步』を踏み出した時に見せる
「どうだ！」という得意げな表情など、その時々を思いを大切にしながら心と体の成長を育みます。

～自我が芽生え、自分なりに思いを伝えたり 活動を広げていく時期～

「自分でやりたいの。でもうまくいかないの。」
そんな「やりたい」小さな芽を大切に育て、「できた！」の笑顔が
咲くようにそっと援助をしていきます。
「何かな？」と興味を持ったところへ足を伸ばすようになり、
少しずつ行動範囲が広がり、探索活動が活発になってくるこの
時期。
このアンテナが「ピン！」と向いた方向にある「何だろう？」を
先生と一緒に共有することで、好奇心を育み、様々な経験の入り
口に立ち始めます。

1歳児 つばき組



2歳児 さくら組



～ともだちの存在を感じ取り、 共同する体験が増えていく時期～

「楽しそう！」「一緒にやりたいな」「貸して」「ごめんね」
隣のともだちの遊びが気になり、ブロックで同じ形を作ってほしい。
同じ人形で遊びたい。
これまでの『ひとり遊び』から少しずつ『一緒に遊ぶ』ことの楽しさを感じていきます。
それと同時に、ともだちと自我のぶつかり合いをしながら少しずつ折り
合いをつける力を身に付けていく時期でもあります。
まだ上手にやり取りができない中で、こどもたち同士の世界観を大切に
しながら仲立ちすることで、お互いにかかわりあえるよう手助けをして
いきます。

満3歳児 にじ組

～できることが増え、
やりたい気持ちがいっぱいの時期～



気持ちはあるのになかなか思い通りにならない…。自分の中でやきもきしながらやりたいこと、やれることを見つけて幼児へと成長していきます。失敗も経験！「やっごらん」と大らかな気持ちで向き合いながら時には援助したり、手伝いすぎず、たくさん褒め、「また自分でやりたい！」につなげていきます。

満3歳児クラスは年少以上の幼児カリキュラムの考え方ではなく、途中入園のお子様も多いので個々の発達や心の動きを読み取りながら、ゆつたりのびのび活動していきます。

3歳児 ひよこ組・めだか組

～自分がいちばん！から社会との関わり方や
コミュニケーション力を育む時期～

自分でも色々な事ができたり、考えたりできる！という自我の発見の時期だからこそ周りの友達や先生との出会い・交流が楽しくもあり世界が広がっていきます。遊びの中でルールを知りながら一人遊びから友達遊びが深まっていく中で自己主張も強くなっていきます。

「自分が！」の気持ちを保育者がしっかりと受け止めながら友達と関わる経験を育てていきます。

手先が器用になっていき、数や色・形・大小を比較する力も発達します。日々の保育活動に様々な経験を繰り返し取り入れていきます。



4歳児 ばら組・もも組



～友達と共有する時間の中で生きる力・
喜びを育む時期～

自分の力で行動する充実感を味わい、友達や先生と同じ時間を過ごすことで共に生きる喜びを育てていきます。

友達との関わりの中でたくさん刺激を受けながら自分の思いを伝え、友達の気持ちを汲み取るようになっていきます。

日々の保育の中で自立心を受け止めながら、時にはヒントを出してあげ、自分で答えが導き出せるように援助していきます。

5歳児 つばめ組・ひばり組

～遊びや園生活の中で試したり、工夫したりしながら
子ども同士育ちあい、つながりを深める時期～

活動や遊びの中で興味・関心を高め、共に笑い、汗を流した仲間とより深く遊びを掘り下げる姿が見られるようになります。

自分の考えを出し、周りの考えを聞いたり受け入れる経験の中で、お互いに尊重し合い助け合う心が育っていきます。

園の中でもリーダー的存在となり、自分たちの園生活を『年長会議』を通して何度も話し合い主体的に決めて参加することで作り上げる楽しさ、充実感を味わいます。

就学へ向け、話を聞く時の姿勢・集中力も日々の保育の中で身につけられるようにしていきます。



ふたばの一年



春

- 入園式
- クラス保護者会・親子レク
- 個人面談
- こどもの日
- 歩こう Day

夏

- 交通安全指導
- 内科・歯科検診
- 七夕
- 水遊び
- ふたば night

一日の流れ





秋

- 引き渡し訓練
- お月見会
- 運動会
- ふたば秋祭り
- 秋の遠足
- ふたばわくわくアートフェスタ
- ハロウィンお楽しみ会
- ふたば神社
- 歩こう Day

冬

- 発表会
- クリスマス会
- もちつき大会
- 歩こう Day
- 豆まき
- おひなさま会
- クラス懇談会
- お別れ遠足
- 卒園式

パパママサポーターさんの日

本園には役員制度はありません。代わりに『パパママサポーターさんの日』を設けています。希望者の方に園のサポーターとなっていただき、保育や行事のお手伝いをお願いしています。



ふたばの食育への取り組み

乳幼児期の食生活は、子どもの健やかな心と体の発達には欠かせないものであり、その後の人生の『生きる基礎』になります。

本園の食育への取り組みでは、毎日の給食を楽しく・興味を持って・おいしく食べることを大切に進めています。

食事を通して身につく力

- ◆多様な食材や味覚を受け入れる柔軟性
- ◆友達や先生と食べる楽しみの共有
- ◆相手を思いやる配膳マナー
- ◆食事づくりや準備への意欲



保育との連動

- ◆おいしく食べるためには、お腹が減っていること！
午前中の主活動では体操をしたり体を動かして遊び、給食の時間にはしっかりとお腹が空くような保育を行っています。
- ◆お当番活動では、配膳や片付けのお手伝いをしたり、みんなの前に立ち「いただきます」のご挨拶をします。責任を持って子どもたちと一緒に『食』に関わることで、子どもたちも誇らしげです。
- ◆給食に出る食材や献立にまつわる絵本や紙芝居に触れたりすることで、様々な食材に興味を持ち、「苦手なものでも一口頑張ろう」というやる気につながります。
- ◆ふたば農園での野菜の栽培や、色々な野菜を見て・触れて・香りを嗅いでみて、その食材が給食に出てくると不思議と食が進みます。



給食のこだわり

日本の食といえば『和食』。和食の良さは『だし』にあります。
給食室の朝は、毎日だしを取ることから始まります。乾物屋さんにブレンドして頂くふたば特製のかつお節を使用しています。
給食は和食を中心とし、素材の味を生かした献立を取り入れています。
ひと月に二度の繰り返し献立にすることで、魚や野菜など…子ども達の苦手な食材も味付けを工夫し、食べられるようになる喜びを味わいます。
野菜量が増えることにより咀嚼回数が増えます。
『噛むこと』は健康への第一歩です。



五感で食べる

楽しく・興味を持って・おいしく食べるためには『五感』を意識することを大切にしています。

◆嗅覚

登園時に給食室から良いにおい！
「お出汁のにおいかな？」「今日の給食は何か？」給食の時間が楽しみになります。

◆聴覚・視覚

季節の旬の野菜や日本の郷土料理、行事食、他国の料理など献立を見ながら子どもたちは事前に絵本や 図鑑で調べています。おさかな図鑑で調べた魚の絵は教室に掲示して「今日のお魚は何か～？」と食のお勉強をしています。
行事食では、見た目の楽しさにワクワクしながら行事の意味を学びます。
誕生日会のデザートは毎月のお楽しみです。

◆触覚

色々な食材に触れてみて、自分たちが食べる給食にどのような食材が使われているか関心が持てるようにしています。

◆味覚

自園給食の良さの一つは食事の提供時の温度です。
子どもたちに適した温度で温かいもの、冷たいものの提供をしています。
温かい汁物やご飯を食べると気持ちがほっとします。
また、食材の素材の味や食感を味わってほしい！との思いで野菜の切り方も工夫し、朝一番に作る出汁で薄味でもおいしく食べられるようにしています。

甘味・塩味・酸味・苦味・うま味の五味給食を感じられるように！
成長に必要な栄養を楽しみながら取れるように！と心がけながら給食の提供をしています。

この五感食べる時の心の状態にも深く左右されると思います。
よりおいしく食べるために、みんなで仲良く楽しい時間になるように心掛けています。



手作りだからできること

- 極力添加物を使わず、ドレッシングも手作りです
- 温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、作り立ての食事を味わいます
- お子様の個々の発達段階に応じた食の提供をしています



季節に合わせた食事の提供



日本には、春・夏・秋・冬の『四季』があります。食を通して『四季』を感じられるよう、季節の旬の食材を積極的に取り入れるようにしています。また、『季節の行事』の際には行事食の提供のほか、行事にまつわる食育活動も取り入れています。

食育活動

年齢に応じて日々の生活に根付いた食育活動を行います。

<食育活動の例>

- ◆野菜の栽培・収穫
- ◆ご近所の農家さんで野菜の収穫体験
- ◆野菜の皮むき
- ◆きのこの食べ比べ
- ◆十五夜のお月見まんじゅう作り
- ◆パン作り
- ◆畑で育てた野菜を使ったピザ作り
- ◆お米の食べ比べ

など



お弁当の日

幼児クラスでは月に1～2回『お弁当の日』を設けています。
(夏場を除く)

子ども達が楽しみにしているこの日は、朝からワクワク♪
作っていただいた保護者の方への感謝の気持ちを育みながら、
みんなでいただきます！



給食とご家庭とのつながり

保護者の方に、園でお子様かどのような雰囲気の中、どのようなものを食べているかを知って
いただきご家庭との連携を取っていくことが大切だと考えています。

ご家庭でも「今日は給食で〇〇を食べたよ」などという会話につながればいいな、と願って
おります。

<ご家庭への啓蒙活動例>

- ◆ 給食の展示
- ◆ 食育だよりにて情報発信
- ◆ Instagramでの献立紹介、レシピ動画
- ◆ 給食試食会

アレルギー食・宗教食について

ご相談下さい。※状況により、お弁当の持参をお願いする場合がございます。

野菜や魚など、苦手な食材も見た目や味を工夫することで、
ひと口だけ頑張ってみようという気持ちになる子どもたち。
ひと口食べるとそのままパクパク食べられる子もたくさん
います。

現在ひとりで食べる「孤食」やみんなが別々のものを食べる
「個食」が問題となる中、仲の良いお友だちや先生と一緒に
頑張れるのも給食のいいところですね。

今後の食生活を営んでいく上でとても重要なものになり
ます。

繰り返しメニューでは、盛り付けや味を少し変化させると
ことで食の進みが良くなり『おいしかった!』と言ってもら
えと励みになります。

子どもたちには給食を通してたくさんの食材を食べられるよ
うになってもらいたいと思っています。

認定こども園ふたば 給食室一同

私たちが調理しています!



正課・課外教室

体育指導

週に一度の専門講師による体育指導。
ふたばでは年少クラスよりスタートします。
マット運動・ボール運動・縄跳び・鉄棒…など
楽しみながら体を動かし、健康な身体と何事にも挑戦する
強い心を育みます。
また、希望者には年中クラスより課外スポーツ教室(保育後)も
行っています。



英語あそび

『英語』も日本語と同じ言葉の一つ。
ふたばの英語遊びは、難しいお勉強ではなく、ネイティブの
先生と一緒にゲームをしたり歌を歌ったり…
また、外国の文化に触れることで外国の方や英語を身近に感じる
ことが出来るようになります。
※2歳児・満3歳児クラス(後期)からスタートします。



ピアノ教室

小宅楽器の講師の先生による課外ピアノ教室。
園の教室で行いますので、お迎えの前にレッスンを受けることもできます。
※希望者は年少クラスから受けることが出来ます。

保護者支援・子育て支援・地域支援

本園では保護者支援活動を行っております。

〈実施例〉

- ◆子育て相談
- ◆給食試食会
- ◆栄養相談
- ◆保護者サークル『ふたばあいあいクラブ』 など

保護者支援

地域の未就園のお子様と保護者の方に向けて子育て支援を行っております。
お気軽に遊びにいらして下さいね。

〈実施例〉

- ◆未就園児クラス『ちびっこふたば』(週2回・母子分離制)
- ◆月に1~2回の子育て支援活動
身体測定、運動会ごっこ、歌のコンサート、人形劇、ふたばあきまつり など

子育て支援

本園では地域の自治会・包括支援センター・社会福祉協議会・ボランティア団体等と
共同し地域支援活動を行っております。

〈実施例〉

- ◆オレンジカフェ
 - ◆フードパントリー
 - ◆移動スーパー
 - ◆駄菓子屋
- ※「オレンジカフェ(認知症カフェ)」とは、認知症の人やその家族、
医療や介護の専門職、地域の人など、誰もが気軽に参加できる
「集いの場」です。

地域支援

制服・教材

制服・体操着は満3歳児クラスより着用します。
0～2歳児クラスは着脱のしやすい動きやすい服装で登園して下さい。

満3歳・年少

満3歳・年少児は体操着登園。
冬服は上にセーラー型ブレザーを着用します。



年中・長

年中児より制服登園。
(ポロシャツ+ズボン・スカート)
千鳥格子柄が人気の制服です。
冬服は上にセーラー型ブレザーを着用します。



エプロン・スマック

食事や製作の際に着る作業着です。



制帽・通園カバン

幼児クラス教材

満3歳児クラスより、教材は個人購入となります。



えんじ色のリュックタイプの通園カバン。
紺色の制帽はカバンと同色のリボンがおしゃれです。



ベッド



お昼寝用のベッド。
1歳児クラスより使用します。
※0歳児は布団を使用します。

入園申請及び認定申請

各認定区分により、入園申請先・認定申請先が異なります。

設定区分	入園申請先と時期	認定申請先と時期	選考
1号認定 1号 (新2号)認定	認定こども園 ふたば	認定こども園 ふたば	認定こども園 ふたば
	時期：一斉入園（11月1日） 途中入園（都度）	時期：面接等で入園内定された後	当園選考基準に沿って園長が選考
2.3号認定	各自治体	各自治体	各自治体
	時期：各自治体に要確認	時期：各自治体に要確認	各自治体の定める利用調整に関する基準に沿って選考

設定区分による違い

認定区分は大きく次のような性質を持っています。

1号認定・1号(新2号)認定

(3～5歳児クラス)・・・教育標準時間のみの保育（従来の幼稚園）

2号認定（3～5歳児クラス）・・・教育標準時間及び就労等において長時間の

保育が必要となる保育

（従来の保育園+学校教育）

3号認定（0～2歳児クラス）・・・就労等において必要となる保育（従来の保育園）



・基準となる利用時間が異なる

・2・3号認定には児童福祉の観点がある

各認定区分ごとに基準となる利用時間・利用者負担額（保育料）が異なります。

当学園の要項とご家庭の状況を考慮いただき、認定
区分別での入園申請をお願いいたします。

利用時間

施設の利用時間は、認定された区分により異なります。

1号認定者・1号（新2号）認定者

一時預かり(予約制) (ふたばクラブ)	登園 時間	通常保育	一時預かり(予約制) (ふたばクラブ)
------------------------	----------	------	------------------------

7:00 8:30 9:00 14:00

※1号認定者の土曜日の保育はありません。

19:00

2～3号認定者・保育短時間（月～金曜日）

延長保育	通常保育	延長保育
------	------	------

7:00 8:30 16:30

2～3号認定者・保育短時間（土曜日）

19:00

延長保育	通常保育	延長保育
------	------	------

7:00 8:30 11:30 15:00

2～3号認定者・保育標準時間（月～金曜日）

延長保育	通常保育	延長保育
------	------	------

7:00 7:30 18:30

2～3号認定者・保育標準時間（土曜日）

19:00

延長保育	通常保育	延長保育
------	------	------

7:00 8:30 11:30 15:00

利用定員 ※国の決算・自治体の市議決議により変更される可能性があります。

設定区分	1号 1号（新2号）	2号			3号		
		5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
利用定員	90名	60名			46名		
		20名	20名	20名	18名	16名	12名

新2号認定について

新2号認定は無償化の制度内の認定のことで、保育料が無償に加えて預かり保育の無償（上限有り）となります。在園中は1号認定扱いとなります。

詳細は自治体の書類をご参照ください。

申請の際は事前に園にご連絡お願いいたします。

施設の一時預かり（ふたばクラブ）、延長保育の利用状況、職員配置等の状況により、ご利用を制限させていただく場合がございます。

【一時預かり（ふたばクラブ）・延長保育】

[預かり保育]ふたばクラブ(利用時間・料金)

★ 1号認定対象者…（下記利用料がかかります）

7：00～7：30	200円
7：30～8：00	200円
8：00～8：30	150円



長期休業や振り替え休日など

30分 100円

保育終了後～17:30まで（30分 100円）

17：30～18：00	150円
18：00～18：30	200円
18：30～19：00	200円

※15:00以降ご利用の方は
おやつ提供費（70円／1食）を
別途頂戴いたします。

★ 2号認定対象者…（利用料金はかかりません。）

◎平常保育時◎（幼児部の保育終了後からの利用）

保育標準時間認定の方…14:00～18:30

保育短時間認定の方 …14:00～16:30

◎長期休業期間、振替休業日◎

保育標準時間認定の方… 7：30～18:30

保育短時間認定の方 … 8：30～16:30

※上記時間外につきましては、延長保育になります。

延長分の利用料につきましては、ご家庭にてお支払いいただく事はありませんが
各自治体が負担しております。

バス通園について

本園ではバス通園を行っています。
バス通園のご利用は満3歳児クラス以上のお子様を対象となります。

【バス運行コース目安】



バスは1台で運行しています ※2023年度現在

朝) 7:50頃~9:00頃

帰り) 13:50頃~15:00頃



- バスコース利用者の人数・ルートにより、年度毎に若干の時間変動がございます。
- 安全管理上、道路幅やルート上の乗降ドアの向き等により、ご希望に添えない場合もあります。
- 車酔いしやすいお子様や車に乗り慣れていないお子様はご相談下さい。

個人情報保護に関する基本方針

当園はお子様及び保護者の皆様の個人情報の重要性を深く認識し、より一層の信頼関係を築くために、ここに園としてのプライバシーポリシーを公開いたします。

1. 個人情報の収集について

当園では、教育、研究、社会連携等を遂行するにあたり、収集目的を明らかにし、収集した個人情報の使用範囲を限定し、適切に取り扱います。また、登録者の属性等は統計資料作成のため、個人を特定できないように加工したうえで利用することもあります。

2. 個人情報の利用について

当園では、お子様及び保護者様の個人情報を以下の目的以外には利用致しません。

- ①入園及び在園保育における管理・名簿作成・連絡手段・物品注文
- ②学校教育法・児童福祉法及び園則で定められた規定書類の作成
- ③行政（県・市）への申請書類、および取引金融機関・保険会社への申請書類
- ④課外教室等における名簿作成・連絡手段・物品注文
- ⑤ご挨拶状の送付
- ⑥広報およびウェブサイトにおける園内外で撮影された画像の掲載

個人名が特定される画像においては、閲覧制限もしくは画像加工の処理を行います。また広報誌等紙面に掲載する場合は、保護者様の同意を必要といたします。

3. 個人情報の開示について

事前にその利用目的を通知または公表することなく収集した個人情報を2-③に関わる提携先以外にあたる他の保護者・業者等・第三者に提供することはありません。ただし、法令の規定に基づいて司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合はこの限りではありません。

4. 個人情報の訂正、削除について

収集した個人情報に関して、ご本人から要請があった場合には、個人情報の訂正、削除をいたします。但し、学校教育法及び児童福祉法で定められた書類に関しては、法定期間の保存を行います。

5. 個人情報の取り扱いについて

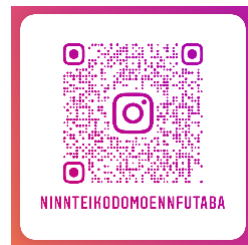
取得した個人情報の適正な取り扱いのため、利用者の権限の明確化、守秘義務等について、従業員に対して安全管理を徹底します。そのため、個人情報管理責任者をおき個人情報の適正管理を行うとともに、情報セキュリティ対策をはじめとする安全対策を講じ、個人情報の漏洩、改ざん、不正アクセス等の防止に努めます。

また、個人情報保護の体制を継続的に見直し、向上させてまいります。

~Xε~

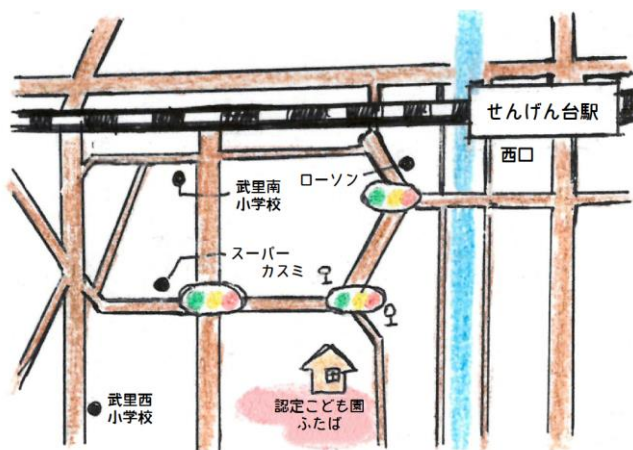
【Instagram公式アカウントのお知らせ】

認定こども園ふたばの Instagram アカウントでは園行事の様子や給食の献立や、自宅で出来るおやつレシピなどをご紹介します。



【LINE公式アカウントのお知らせ】

認定こども園ふたばの公式 LINE アカウントにお友達登録していただくと、入園のご案内や子育て支援のご案内がご覧いただけます。



幼保連携型認定こども園 認定こども園ふたば

Since 1969

春日部市大場 902-1 (武里団地 6 街区内)

☎048-(734)-3873

URL

<http://www.takesato-futaba.ednet.jp/>

E-mail

info@takesato-futaba.ednet.jp